



第 22 回 卒業証書授与式を挙行いたしました。

新型コロナウイルス対応で在校生無しとなりましたが、天も祝福し快晴。厳粛な中、温かい卒業式を行うことができました。



今まででは与えられた教科書を学んでいればよかった。
しかし、これから歩む人生は
与えられる教科書なんて一冊もない。ワークブックもない。
全て自分から教科書を求めて学んでいくステージになる。

これまで一斉に同じ問題を解く中で、
いかに早く・正確に、
一つしかない答えを導き出すことに、みんな一生懸命だったが
これから的人生は皆違う問題を
その人の状況に合わせて出題される。

答えがないかもしれない。

答えが複数あるかもしれない。

今日の正解が明日には不正解かもしれない。

ではどうしたら最適解がわかるのか？

それは目の前の問題を怖がらず、不安がらずに挑戦すること。

考え過ぎず行動すること。考えすぎたら動けない。
動かなかったらわからない。

行動すれば必ず失敗という経験が手に入る。

その経験が多くなるほど
答えがわからない問題に立ち向かうことができる。

経験こそ最高の財産。

つまり、問題を解決できるツールを
どれだけ持っているかで生き方が変わってくる。

失敗を恐れない勇気をもって挑戦です。

卒業生の未来が明るく、大きく拓かれることを願います。



学校長式辞



卒業生入場



卒業証書授与



学校長エール

両親へ。どんな時でも明るく励ましてくれたお母さん。送り迎え、毎日のお弁当ありがとうございます。
なんでも相談に乗ってくれて、やりたいことをやりなさいと私の意志を受け止めてくれたお父さん。

普段は言えないけれど、言葉では表せないほど感謝しています。本当にありがとうございます。

そして家族へ。何かと私を優先してくれて、応援してくれてありがとうございます。

その優しさのお陰で、私はひとりじゃないと安心して勝負に挑めました。

今になって、自分がどれだけ幸せだったかが実感できます。

これからは家族に恩返しができるように、惜しまず努力を続けていきたいと思います。

卒業生答辞

私たちは今日、「なりたい自分」に向かって、人生の大きな一步をそれぞれが踏み出そうとしています。

これから先、それぞれが歩む道の途中でどんなに苦しいことに直面しようとも、

かけがえのない仲間と過ごした啓新高等学校での三年間を思い出せば、乗り越えられない壁などありません。

自分たちの未来に大きな期待と自信を胸に抱き、「真・善・美・行学一路」の建学の精神を忘れず、前進し続けます。

最後になりましたが、今まで私たちを支えてくださった皆様に改めて御礼申し上げるとともに、

啓新高等学校の更なる発展と、皆様方のご健康を祈り、答辞の言葉と致します。



卒業生退場



3年5組



上野 瑠美さんの答辞より抜粋

ファッションデザイン科

第43回 パーソナルカラリスト検定2・3級

全国1位 最優秀賞

パーソナルカラリスト2級検定において、ファッションデザイン科2年生の竹林さららさんと宮本涼香さんが、最高得点獲得で全国1位となり最優秀賞を受賞しました。

なお、全国上位20名に与えられる検定優秀賞も7名が受賞。

2年生の青山楓花さん、上杉あんずさん、佐々木涼菜さん、永井愛子さん、宮本圭梨さん、八杉優有美さん、1年生の中村侑加さん。

さらに本校2年生の合格率も93.8%（全国平均73.0%）と高い数字を残しました。

また、パーソナルカラリスト3級検定において、ファッションデザイン科1年生の小松里奈さんが、見事満点を獲得し全国1位の最優秀賞を受賞しました。

さらに1年生の伊與胡桃さんが検定優秀賞を受賞しました。

正しい努力の継続には必ず結果がついてくる。

可能性の種に努力という水をやり続けるれば、独自の花は必ず咲くものですね。

啓新高等学校 HP 内で
校長日誌（ブログ）毎日更新中！

公式のSNSをやっています！



啓新のイマがわかる！

K 啓新高等学校

そば部4年連続認定受ける

『高校生そば打ちマイスター』

※ 同マイスター認定制度とは

高校生へのそば打ち普及に取り組む県麺類業生活衛生同業組合がそば打ちの基本技術を習得した高校生をマイスターとして認定するものです。



そば部の3年生が、

福井県そば協同組合会長より、

そば打ち認定証をいただきました。

1年生から打ち続けた蕎麦。

できるとは思っていなかった蕎麦打ち。

3年間の努力が評価された瞬間です。

蕎麦打ちを通して得たモノ、

それはやればできるという自信ですね。

